



## 農の暮らし ~ 自給自足社会に向けて ~ 第14回

いのちを食べて生きている私たち。私たちの生活を支えている農のこと、そして自給自足の暮らしについて、もっと身近に感じてみてください。



### 自然農 石井実践の場 岩野泰典さん

高校の教師をしながら、自然農の学びの場の世話役をしている岩野泰典さん。2年前に棚田を購入し、家族と共に休日を利用して農的暮らしを満喫しています。農との出会いや塾の様子、棚田での生活などを紹介します。

### 自然農との出会い

高校時代から環境問題や食糧問題に興味があり、大学では、有機光化学の基礎研究に励んでいました。しかし、一生懸命研究すればするほど、何かが違うという思いを募らせ、心は落ち着くことなく苛立ちに囚われていきました。卒業後、「地球村」の講演を聞く機会がありましたが、地球環境の現状を詳細に知れば知るほど、



不安となり焦りが募っていきました。技術や知識がいくら増えても心は安らかにならなかつたのです。また、当時は、小さなグループを作って、環境、食、教育の学習会を友人

達と重ねていました。ある時、食の学習会に参加した農家の方から「君たち熱心に議論しているけど、農業をしたことあるの？そんな机上の空論では何も分からないよ。一度うちの農園を見に来たら？」と提案されました。その農園は普通の田畑ではなく、そこには草や虫と共に育つお米や野菜の姿がありました。そこは全国的にも有名な自然農、すなわち耕さない農業の専業農家だったのです。美しい田畑に触発され、じゃあ農業をやってみるか、と、1997年に数人の仲間と休耕地をお借りし「自然農塾」をはじめました。指導者には、先の農家の方が全くの素人の私たちを見かねて引き受けてくださいました。これが自然農との出会いでした。

ある日、農作業に疲れて畑で横になって、草の中に寝ると見えてくるのは青い空と緑の草、そして美しい大根の白い花、花に舞う蝶、耳を澄ますと鳥の鳴き声が聞こえてきました。まるで別世界にいるようでした。何ともいえず安らいだ平和な気持ちに満たされました。こんなに身近に天国のような美しい世界があったのかと驚きました。求めていた平安な世界はすぐそこにあり、ただ気付けばよかったです。この気付きが私の人生を大きく変えていきました。

### 自然農塾での学び

自然農といっても、人それぞれで言っている内容はバラバラのようです。私達がやっている自然農は奈良の川口由一さんの農法です。お米や野菜を育てる際、人が自分の都合で農地を耕し、自然の生態系を壊し支配するのではなく、人が自然の循環を大切にし、自然に沿い、作物を育てます。具体的には、耕さない、草や虫を敵にしない、農薬除草剤を使用せず、肥料を持ち込まず、草などを持ち出さないというやり方で、

機械は極力使用せず、ほとんど手作業です。マニュアルは無く田畑に立って自然と向き合い、今何が最善なのかを判断する能力が必要となります。近代農法の田畑を自然農に切り替えて数年もすると、豊かな生態系が蘇ります。その田畑の自然浄化力は極めて高いといえるでしょう。自然農の田畑は居るだけで心地よく、人の心も大いに浄化してくれます。現在、「自然農塾」は私が世話役を引き継いでいます。面積は約500坪で自然農に興味があり、実際にやってみたい方に畑を一定区画無料で貸し出しています。そして月一回集まり季節の農作業の様子を見てもらい、参加者の質問にお答えしています。その後、自然農に関する書籍を読みながら、自然農の理論や、本当の教育とは、政治とは、芸術とは何かなどを話し合い、どう生きれば自然の中で自分を生かし切れるのかを学びます。

## 自給自足への挑戦

お借りしていた田んぼが埋め立てられ、様々な生き物が生息していた田んぼが一瞬にして宅地になったことがありました。その時の何ともいえない空しい経験から、やはりじっくりと自然農に取り組むには自分の田畑を手に入れるしかないと、山の麓に棚田を購入しました。自然農を初めて10年目のことです。そこは5年間ほど放置されていたため全面を2~3mの草が覆い尽くしていました。まずはパワーショベルで山を削り、道路を付けることからはじめ、全面草刈りをした後に、田んぼと畑、果樹園、竹林へと区画整備をしていきました。現在、休日には妻や二人の子どもと農作業を楽しみながら、たまに宿泊し、夜は焚き火を囲んで家族でパーベキューを楽しんでいます。ある夜など蛍が棚田を舞い、一面幻想的な雰囲気になりました。山の麓の棚田は豊かな自然が残っています。本当に日本は豊かだなあとと思います。徐々に田畑を美しく整えていきながら自給率を上げようと考えています。

## 伝えたいこと

自然農を実践していく中で、全国各地で自然農に取り組んでいる方達に出会ってきました。そして多くの方が豊かな自然の中で大地にしっかりと足をつけ、自分らしく時には悩みながらも大きな安心の中でたくましく暮らしている姿を拝見してきました。人もいち生物です。自然の輪の中で生きるといいのです。そこから外れて自然を敵にしなければいいのです。技術も知識も自然を敵にしては生きてはいけません。自然農

はそのことをダイレクトに教えてくれます。しかし、田畑に立つ時間が無くても、このことは実感



できるはずですが、人も本来自然だからです。暮らしの中に自然を感じる時間を取り戻し、そして自分自身の心の奥底や身体と会話する時間を持ち、目の前の人を大切に、今をしっかりと生きること、これらを心がけていけばいいと思います。ナチュラルにそしてしっかりと生きることです。現在、学校の中にも小さな自然農の畑を作り、子ども達にこのようなことを伝えられるよう取り組んでいます。一人でも多くの方が自然の輪に入り大安心のうちに暮らせませう願っています！

みなさんお待ちしています

自然農 石井実践の場世話人  
岩野泰典

〒770-807 徳島市八万町橋本12-4

TEL/FAX : 088-668-4268

メール : iwano3@mail.goo.ne.jp

<http://ameblo.jp/hikari-kagayaku-ima/>

このコーナーに登場していただける方を募集しています。自薦他薦問いません。メールでご連絡ください。『地球村』mail : tusin@chikyumura.org